

かんまき 社協だより

第64号
2018.10



勝負の行方に一喜一憂

写真は7月後半から8月前半にかけて開催された「宿題サロン」の様子です。

みんなで宿題に取り組んだ後、参加者がそれぞれオリジナルの力士をつくり、みんなで紙相撲を楽しみました。トーナメント方式で対戦し、決勝戦には写真のようにみんなが集まって勝負の行方に一喜一憂しました。

詳細は小地域ネットワークの活動紹介のページをご覧ください。

目次

夏休みの宿題サロン	・・・1
なら小地域サミット	・・・2
活動紹介のページ	・・・3
お知らせ（ご寄附の報告等）	・・・4

発行：社会福祉法人 上牧町社会福祉協議会

住所：上牧町上牧3245-1

TEL：0745-76-6098

FAX：0745-79-0895

URL：<http://kamishakyo.web.fc2.com/>

なら小地域サミット2018

去る8月25日（土）なら小地域福祉活動サミット2018が行われました。このサミットは、「共生のまちづくり」をテーマに顔の見える身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう小地域福祉活動の様々な取り組みや工夫を奈良県内の活動者が一堂に会し、学び合う場となっています。

先ず、『であい・つながり・元気をめざすくらしづくり』をテーマにNPO法人暮らしづくりネットワーク北芝 池谷啓介氏より基調講演が行われました。

箕面市の中心部にある萱野地区で取り組まれている池谷さん達の活動は、地域住民の「つぶやき」がきっかけとなり住民主体の活動への展開されています。

ある住民の発した「つぶやき」を地域の生活課題として捉え、活動や事業に変えていくスタイルで行われていて、「病院に連れて行ってほしい。」という声から気軽に利用出来る独自の送迎サービス「かやのタクシー」が事業化されり、地域のおばちゃんの「自分が将来1人暮らしになったらおいしい夕食を配ってくれるグループがあったらなあ。」からそのおばちゃんを中心となり「食の福祉サービス おふくろの味」が誕生したりと住民同士の支え合い活動が行われています。また、まちづくりの基本である「子育て」の分野では地域文化の伝承やまちづくり体験など福祉教育にも取り組まれていることを紹介されていました。

今年の分科会には上牧町の吉田義男氏（片岡台3丁目 いざなぎの里代表）が登壇されました。「いざなぎの里」結成のきっかけとなる住民座談会での「誰もが集える場所がほしい。」という声から団体を立ちあげられ「ふれあいサロン」を開催するようになったことやそのサロンを続けていると男性の参加者が少ない事に気づき、いかに男性を振り向かせるかと「ほろ酔いサロン」開催に至ったことなど紹介されました。また、日頃お付き合いのなかった男性達が楽しく参加されている事を愉快にお話戴きました。

ここでも「つぶやき」や「気づき」を大切に住民自ら考え、支え合う活動へと繋がったことが発表されました。

このように上牧町でも小地域福祉活動を行っている地域が14カ所あります。ふれあいサロンや昼食会など地域の拠点（公民館や憩いの家など）で行われています。

皆さん、一度覗かれてはいかがでしょう。





小地域ネットワーク 活動紹介

～夏休み宿題サロン～

今回 3 年目になる「夏休み宿題サロン」が 7 月 22 日松里園を皮切りに小地域ネットワーク活動が根付いている 10 地域で行われました。子ども達は延べ 113 名、世話人や学生ボランティア等延べ 64 名の参加を戴きとても活気のあるものでした。

まず、宿題サロンが始まると子ども達は大学生のお兄ちゃん達にわからないところを質問したり、膝の上に乗って一からじっくり教えてもらったりしてじっくり取り組んでいました。1 時間では足りない遊び時間も利用して宿題をしている努力家もいました。

学習が終われば、遊びの時間です。みんなで紙のお相撲さんを作り、紙相撲で対戦しました。かわいいドレスを着たお相撲さんや如何にも強そうな怪獣力士、改良に改良を重ねちょっとした震動ではびくともしない力士などを作って戦いました。「はっけよい。残った、残った」「わあ、危ない!」「頑張れ!頑張れ!」子ども達は土俵の回りに集まり歓声が上がります。各地域で楽しい対戦が行われましたが、優勢だったのは女の子達でした。



小地域ネットワークの世話人の方々は、昔懐かしい遊びに頬を緩ませ、かわいい子ども達を前に目尻が下がりはなしのとても和やかなサロンとなりました。



町V連活動紹介

～TCカメラを楽しもう会～

昨年 4 月、社協主催の“タウンカレッジ”「カメラを楽しもう ～桜を撮ってみよう～」講座が開催され、翌週に小西武男先生ご夫婦と受講生 7 名により「TC(タウンカレッジ)カメラを楽しもう会」(略 カメラ会)を設立しました。デジカメは、どこの家にも一台はあり、家族の行事、旅行など様々な時節に「記録」として撮る親しみのあるカメラです。最近ではスマホの発達で子どもでも簡単に撮ることができます。しかし、カメラ会の目的は、「作品」として“撮る”ということです。自分が「何を撮りたいか」。そして、その作品を見た人が、“何を感じるか”が「記録写真」とチョット違うところです。

一ヶ月おきに撮影会、作品研究例会を行い、小西先生に写真の講評をいただいています。今年度の撮影先は、馬見丘陵公園、大阪舞洲「ゆり園」「大阪市環境局・舞洲工場」、大和郡山市「金魚市」。

また、「ふれあい社協まつり」や「上牧町文化祭」作品出展、社協ホームページの写真提供などの活動をしています。



現在、会員は女性 4 名を含む 13 名。デジカメをお持ちの方で入会ご希望は上牧町社会福祉協議会(2000 年会館 2 階)「TCカメラを楽しもう会」事務局まで。“写真仲間”待っています。

赤い羽根の共同募金

10月1日より「じぶんの町をよくする仕組み」を合
い言葉に「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まり
ます。

この募金は地域福祉の推進を目的として、地域の福祉
課題を解決するために住民自らが取り組む活動への支援
や災害支援として役立てられます。

みなさまの暖かいご協力をお願い致します。

街頭募金の日程は左記のとおりです。

10月1日 10時30分～12時

アピタ西大和店・スーパードック

11月3日 10時30分～12時

ペガサスフェスタ会場



スウィーツ甲子園に参加

10月13日(土) イオンモール大和郡山で開催され
る第10回スウィーツ甲子園奈良大会にカフェらつと
が参加します。

今回はとても希少な日本蜜蜂の蜂蜜をふんだんに使っ
た「秋のはつかぜ(かすてら)」を出品します。

皆さん是非ともご来店ください。

寄附のご報告

(平成30年6月5日～平成30年8月31日)

上牧町社会福祉協議会では、地域福祉推進の
ためご寄附をお願いしています。

皆様からいただきました寄附金は上牧町の地
域福祉事業に活用させていただきます。

たくさんのご寄附をいただき、ありがとうございます。
(敬称略・順不同)

氏名(団体)	種別	金額
手作りなかま	社協まつり	14,375円
滝川台ネット		2,620円
しもまきネット		1,000円
すみれ会		1,752円
子育てネットかんまき		3,000円
英語教室		3,033円
松里園ふれあいの会		1,000円
匿名	寄附	50,000円
友愛会	一元募金	1,355円

広告

予期せぬ**災害**や**万一の事故**の際に
身近で**頼りになる代理店**をめざして

**笑顔になる
保険選び**

有限会社
エナミ総合保険 保険代理店
東京海上日動火災保険株式会社
東京海上日動あんしん生命保険株式会社
☎0745-73-8189 エナミ保険 検索

上牧町片岡台1-6-116 セントラルビルズ西大和1階

・かんまきタウンカレッジ(平成30年度
下半期)のご案内は別紙チラシをご覧ください。

※個別の事業報告は社協のホームページ
にも掲載しています。